

Graduate Program for Power Energy Professionals



早稲田大学
パワー・エネルギー・プロフェッショナル(PEP)
育成プログラム



異次元かつ未踏の領域へ
電力・エネルギー大変革時代を切り拓く
博士人材の育成





プログラム責任者

須賀 晃一

早稲田大学副総長 政治経済学術院・教授



プログラムコーディネーター

林 泰弘

先進理工学研究科 先進理工学専攻・教授

「未来社会を担う世界水準の 人材育成」

このたび、文部科学省が卓越した博士人材の育成を目的に実施する「卓越大学院プログラム」に、本学の「パワー・エネルギー・プロフェッショナル (PEP) 育成プログラム」が採択されました。

持続可能な社会の実現に向け国際的な関心が高まるなか、電力・エネルギー分野は、来るべき超スマート社会の軸の一つであり、この分野において、世界をリードできる人材の育成は喫緊の課題です。

本プログラムでは国公私立13大学が連携するという、これまでに例をみない教育環境が実現しました。海外の大学や企業、研究機関とも密に連携し、産学が総力をあげて取り組む環境も整っています。

本学は2012年から18年にかけて実施した「リーディング理工学博士プログラム」において、すでに5年一貫制の大学院教育を導入し、優れた評価を得ております。この経験を活かした本プログラムが、世界水準の人材育成という使命を果たし、電力・エネルギー分野のみならず、大学院改革の優れたモデルとして社会に貢献することを確信しております。

「新産業創出に向け オールジャパンの取り組みを」

電力・エネルギー分野の新時代は、すでに始まりを見せています。これまでエネルギーは、供給側から需要側へ向けた一方向の流れでしたが、今後供給は分散し、需要側からもエネルギーの流れが生まれ、そのやりとりは複雑多岐になっていきます。ネットワークを介して多くのモノがエネルギーと情報でつながり、関係する技術領域は、マテリアル系からシステム系までより多くの分野にわたるでしょう。このような状況において、技術を社会実装して新たな価値の連鎖を創造し、イノベーションを起こすために、科学技術者はそれぞれの専門分野のみならず、制度改革や国際標準化戦略、ビジネスモデル創出など、技術以外の課題も取り込み、総合的に取り組んでいくことが求められます。

本プログラムでは、産官学の連携協力のもと、これまでに比類なき質と量の教育研究プラットフォームを構築しました。最高の教育環境と人材交流の場であることは勿論、これに留まらず、新産業創出に大きく貢献するものと自負しています。

本プログラムを修了した卓越生たちが即戦力となり、業界の垣根を超え、エネルギー・イノベーションの舞台で活躍し、世界を元気づける“PEP人材”となることを願っています。

エネルギーセンサーネットワーク



分散型パワーリソース

エネルギー新時代を創る
知のプロフェッショナル

持続可能な社会実現に向けた地球環境保護や、デジタル・AI化等の世界的潮流に加え、国内ではSociety5.0の提唱や約60年ぶりのエネルギー制度改革などがあり、電力・エネルギーインフラに関わる産業は今、構造転換期を迎えています。時代は今、これまでとは異なるタイプの、新しいスキルをもったプロフェッショナル博士人材を必要としています。

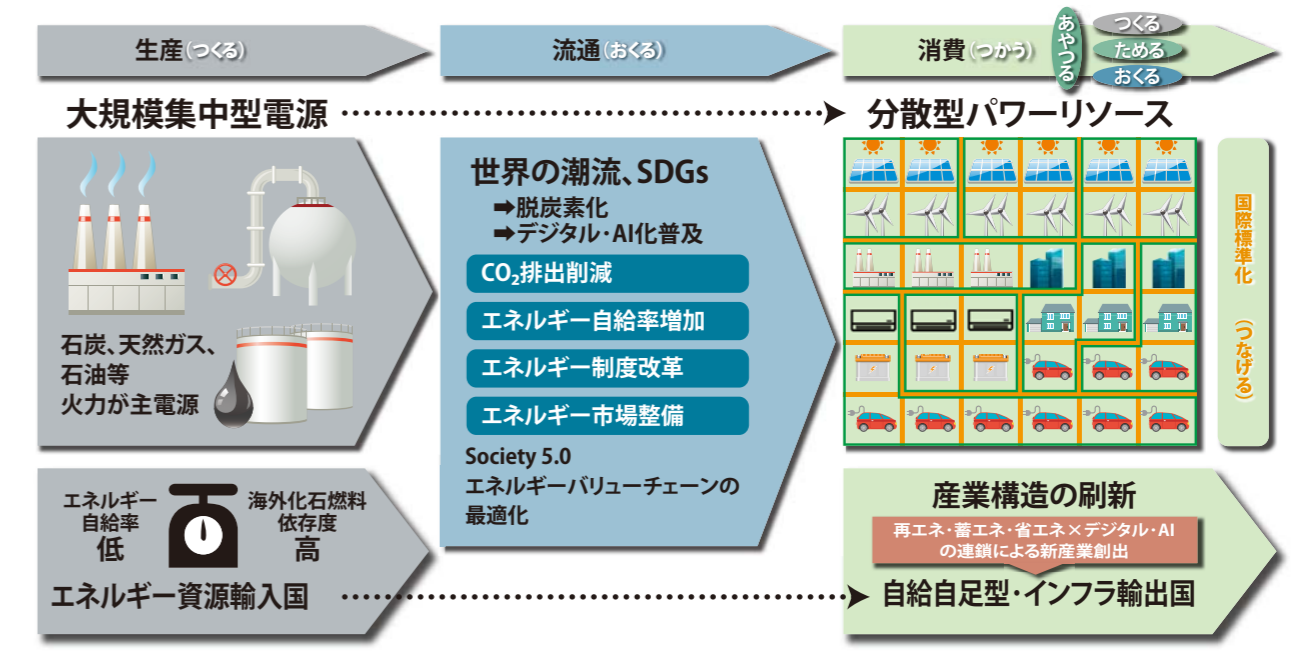
総延長は地球30周分にもなるといわれる電力ネットワークインフラ。石油やガスも含めたエネルギーインフラに関わる産業規模は、極めて大きなものとなっており、今後その範囲はさらに情報・通信分野や自動車分野、建築・建設分野、サービス分野などへ拡大するものと予測されます。

再生可能エネルギーとその利用のためのシステムマネジメントの普及、電気自動車(EV)や蓄電池など技術開発の促進、IoTなど情報通信技術の進歩によって、エネルギー供給は大規模集中型から小規模分散型へ本格的なシフトを

始めており、従来の常識を超えたエネルギーネットワークシステムの変革・再構築がなされなければなりません。

さまざまなモノがエネルギーネットワークシステムにつながり、デジタルで管理されるようになると、システム全体がどう最適化されるかが最終的な課題になります。これを解決するためには、エネルギーを高効率に生産するためのマテリアル開発から、流通、消費を含めたシステム開発までを一気通貫で見通すことができ、さらに、新たな技術を社会実装するための知識や調整力をもった人材が必要です。

電力・エネルギーインフラでのイノベーション時代の到来

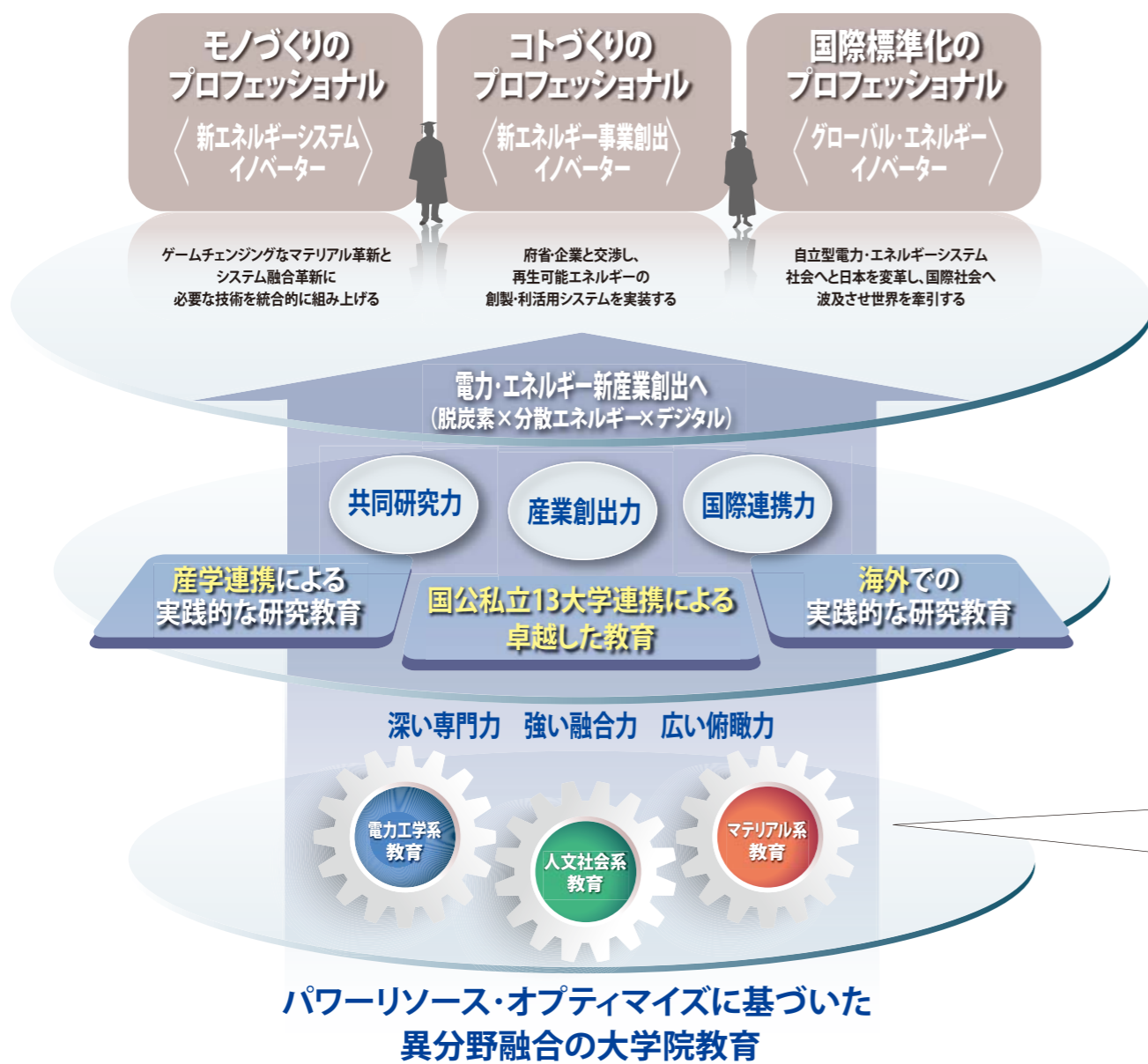


理

技術革新、事業創出、 国際標準化に貢献する人材育成のスキーム

本プログラムは、新たな学理「パワーリソース・オプティマイズ」に基づいた、体系的な教育研究プログラムです。技術イノベーションと社会的イノベーションを両輪としてとらえ、電力・エネルギー新産業創出に挑むための総合的な課題解決力をもった人材の育成を目指します。

PEPの人材育成スキーム



13大学連携インターユニバーシティ型卓越大学院プラットフォーム

本プログラムが目指す「知のプロフェッショナル」の人材像は、①モノづくりのプロフェッショナル：新エネルギーシステムイノベーター、②コトづくりのプロフェッショナル：新エネルギー事業創出イノベーター、③国際標準化のプロフェッショナル：グローバル・エネルギーイノベーターです。

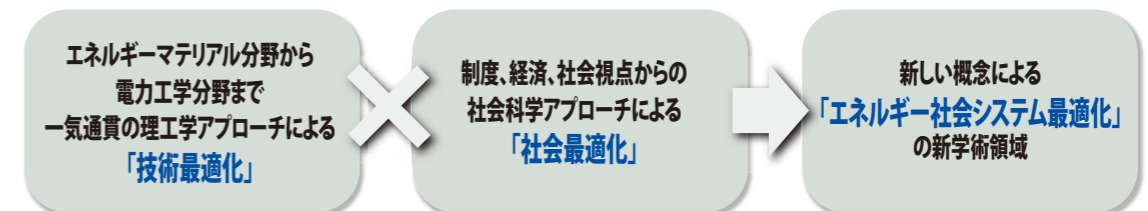
これらの人材育成に向け、新産業創出のための新たな学理「パワーリソース・オプティマイズ」を打ち立てました。新時代に対応すべく、未来のエネルギーバリューチェーンを、現象の最小単位である電荷から巨大電力ネットワークシステムまでの新価値の連鎖として捉えます。これにより、電荷の制御をナノスケールのレベルで実現する再生可能エネルギー電源や蓄電池などで高機能な分散型パワーリソースを生み出すエネルギーマテリアル分

野と、これらリソースのエネルギーを予測・解析により最適に統合制御・運用する電力工学分野が一気通貫につながります。

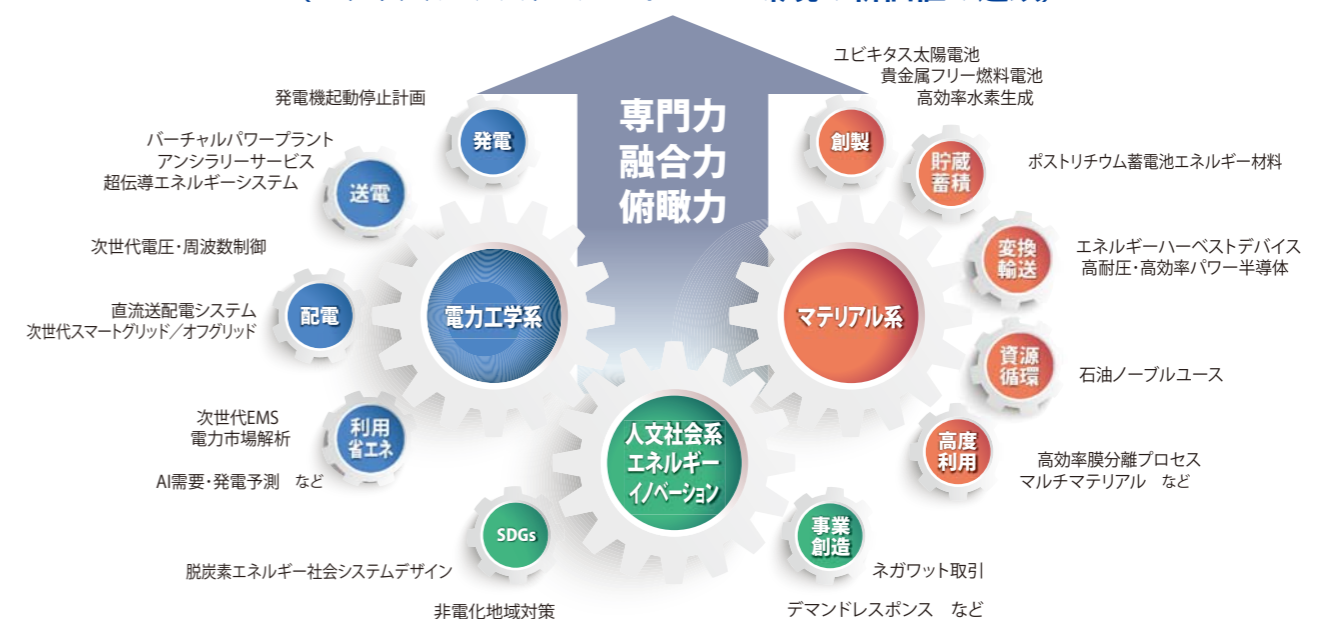
さらに、国連のSDGsに貢献し、多数のプレーヤーが活躍できる制度設計や小規模需要家間電力取引等、従来にない付加価値を“Energy as a Service”の視点からビジネスとして結実させる社会科学的分野を加えることにより、最適なエネルギー価値の連鎖の創造を目指します。

本プログラムでは、電力工学系、マテリアル系、人文社会系の異分野融合教育により、深い専門力、強い融合力、広い俯瞰力を養います。これらの力をもって、さらなる共同研究力、産業創出力、国際連携力を身に付け、世界にはばたく新産業創出のプロフェッショナルとして輩出します。

「パワーリソース・オプティマイズ」の学理



最適なエネルギー価値の連鎖 (マテリアル・システム・kW/ΔkW・環境の新価値の連鎖)



新

卓越した教育体制

従来の博士課程では学ぶことのできない、本プログラムの特長を紹介します。

1. 国内13大学、企業・研究機関、海外大学との幅広い連携

新産業創出のためには、産官学の幅広い連携体制が必要であり、これまでにない質と量の教育研究プラットフォームを構築しました。国内大学では電力・エネルギー分野で実績のある全国13国公立大学が結集、海外では米国・欧州・アジアの各地域において、電力・エネルギー分野の研究を核となって推進している一流大学・研究機関の協力も得ました。産業界からは電力、ガス、石油、水素のエネルギー全領域を網羅する組織と連携。今後も広く協力を呼びかけていきます。

2. 国際標準化教育

海外でのビジネス展開においては、規制・基準、製品規格等を国際標準に準拠させることが必須であり、これを戦略的に推進することは、極めて重要です。早稲田大学には、デマンドレスポンスの標準化技術を産官学で社会実装した国内唯一の機関であるEMS新実証センターのインフラ実績があり、これを教育施設に転用

し、実機演習による国際標準化教育を実施します。

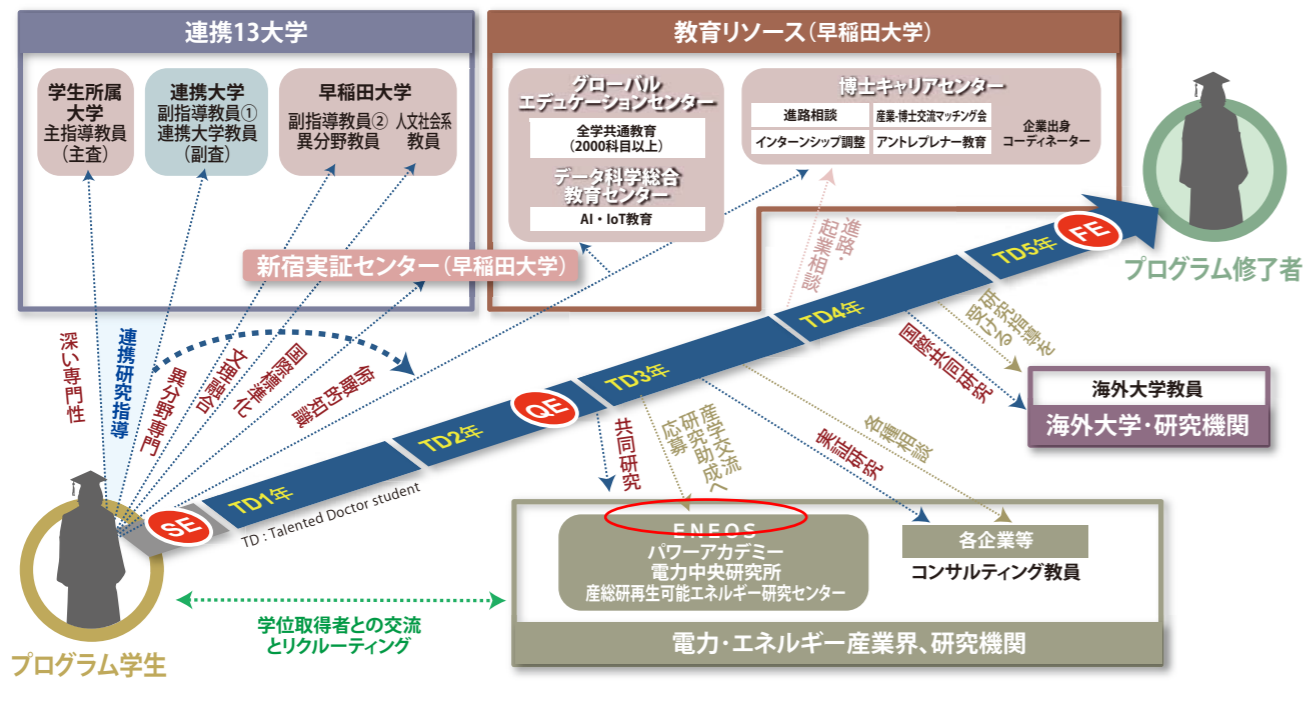
3. 未来社会デザインのための異分野融合教育

世界市場を視野に入れた新産業創出を実現するためには、専門分野周辺の多彩な知識と社会デザイン力が不可欠です。本プログラムでは電力工学系・エネルギー材料系の異分野融合科目「パワーリソース・最適化」に加えて、環境経済、社会制度、法律、ビジネスモデルなどを俯瞰する科目「エネルギー・イノベーションの社会科学」「事業創造演習」など、充実した人文社会系教育を行います。

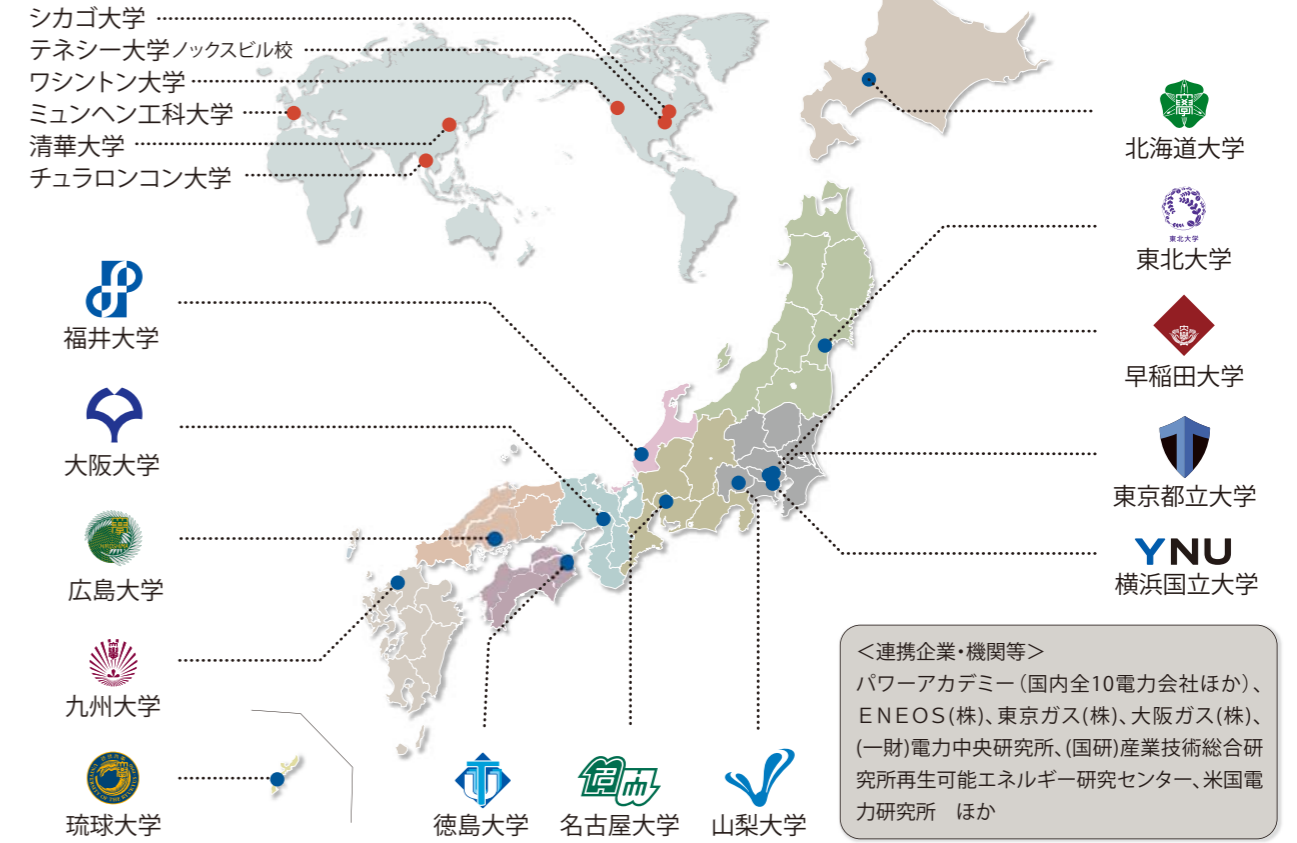
4. 複数教員による指導体制

指導教員に加え、理工系異分野教員、人文社会系教員、連携大学教員、コンサルティング教員(企業在籍者)等、複数教員による重層的な教育研究指導を、プログラム進入から修了まで一貫して行います。学生は多様な視点からの気づきを得ることができ、また人的ネットワークを獲得していきます。

複数教員による指導体制



国内13大学、主要企業、海外大学との幅広い連携 比類なき質と量の教育研究プラットフォーム



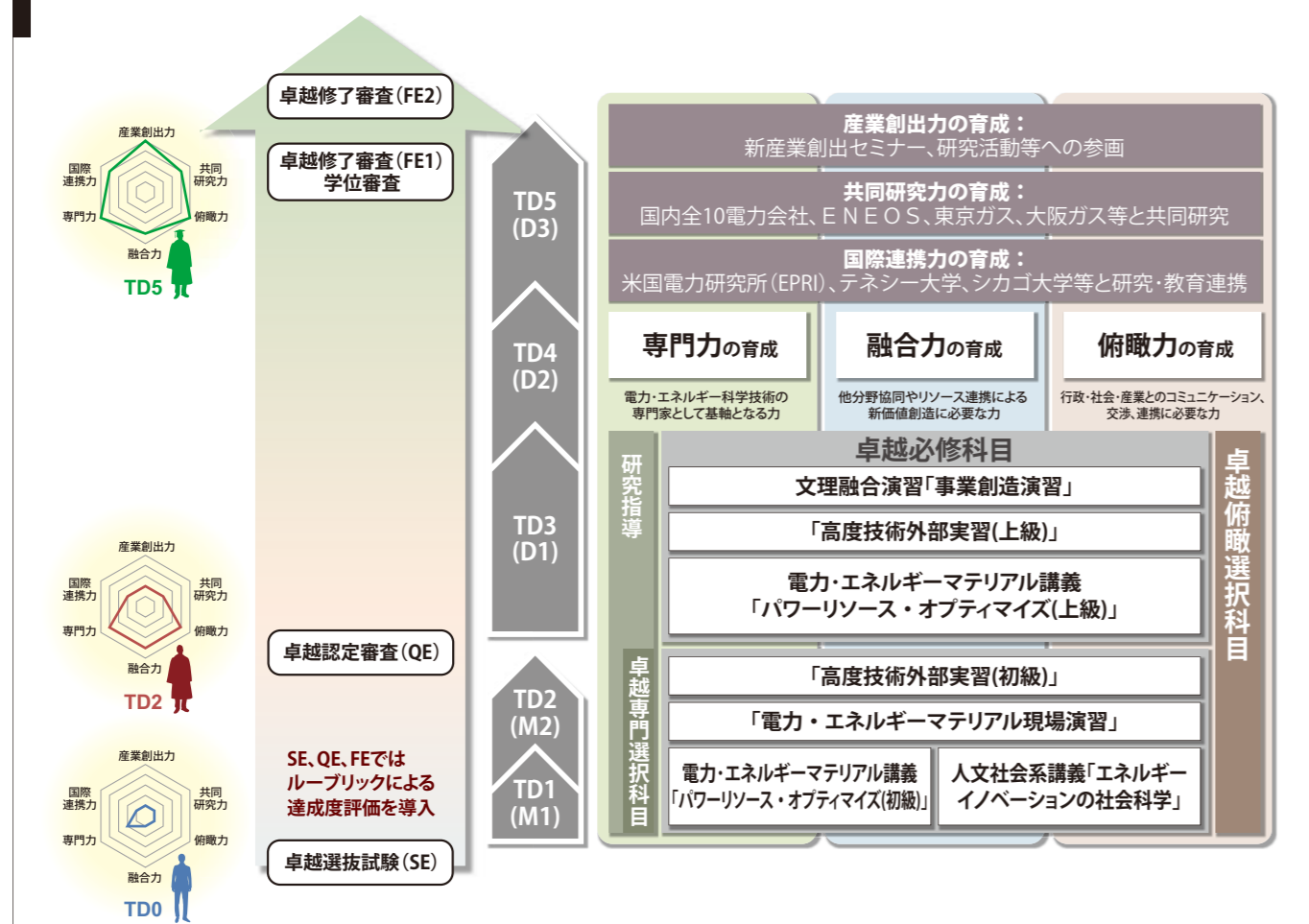
未来社会デザインのための異分野融合教育



伸プログラムの全体像と確かな質保証

本プログラムは5年一貫の学位プログラムであり、連携13大学のいずれかに所属しながら参加・履修することができます。学生には研究対価としてのResearch Assistant(RA)費の支給やカリキュラムの履修にかかる経費支給、各所属大学における独自制度など、学生への支援体制も充実しています。修了審査合格者には、各所属大学の博士学位に加え、本プログラム修了証が与えられます。在学中に身に付けた高度な知識と豊富な経験、圧倒的な人的ネットワークを武器に、活躍の場が世界に広がります。

教育プログラムの全体像



●カリキュラム

本プログラムでは博士前期(修士)課程と後期課程の連続年次をTD1年～TD5年として、5年一貫で定義します。

【卓越必修科目(連携13大学共通、10単位)】

連携13大学理工学系教員による「パワーリソース・最適化(初級/上級)」、早稲田大学の人文社会系教員による「エネルギーイノベーションの社会科学」「事業創造演習」、パワー・エネルギー系現場の最前線を知る「電力・エネルギーマテリアル現場演習」、連携先研究機関等と協働して専門家から指導を受ける「高度技術外部実習(初級/上級)」の7科目からなります。

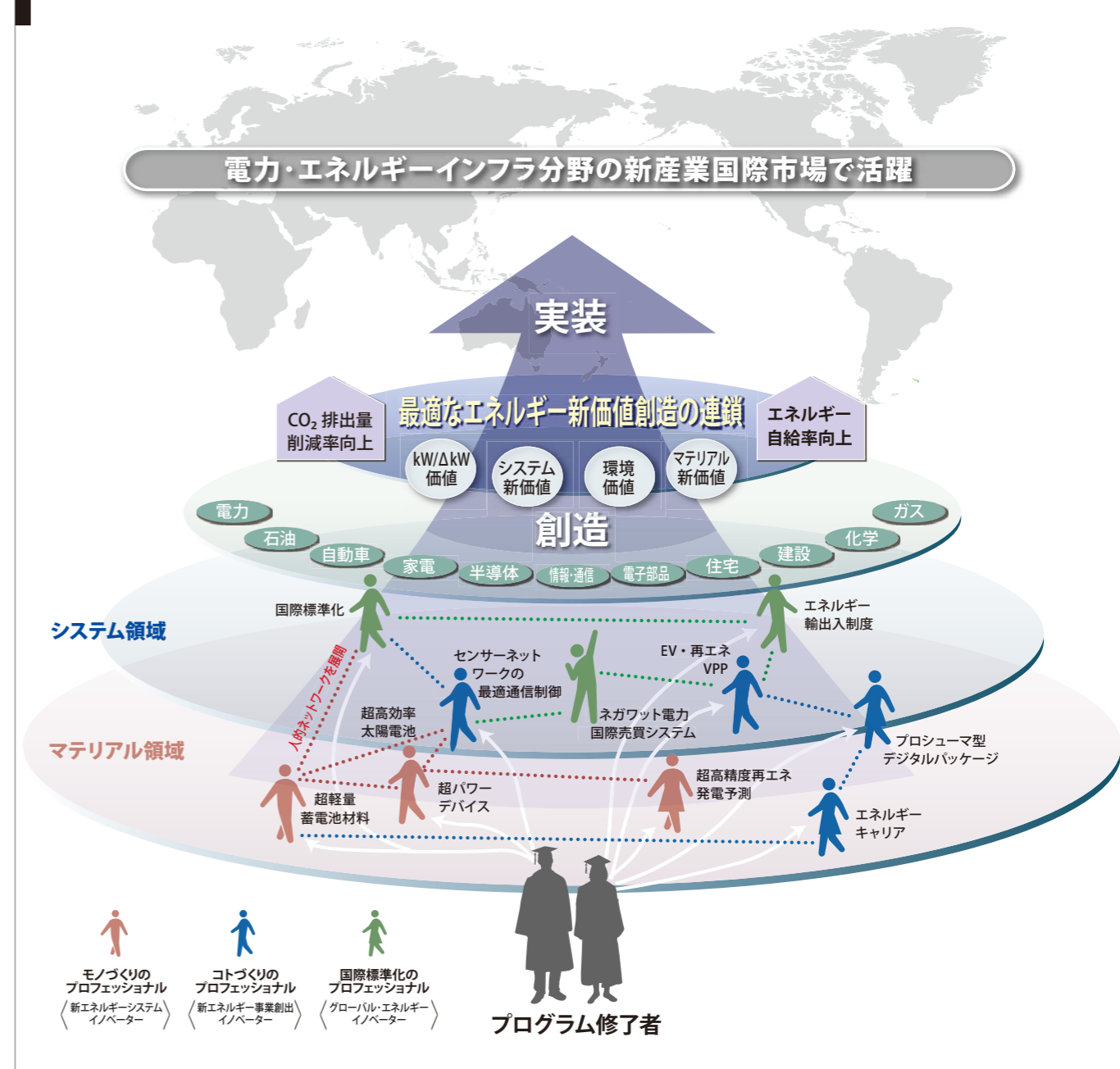
【卓越専門選択科目(15単位以上)】

プログラム共通のコースポリシーのもと各大学で設定された専門科目。電力工学系学生は電力機器系(ハード)と予測・運用・制御系(ソフト)の専門科目を、マテリアル系学生は物性・材料・プロセスの基礎と応用の専門科目群を履修します。

【卓越俯瞰選択科目(5単位以上)】

ラボローテーション、海外での研究機関実習、企業インターンシップ、リーダーシップ科目、AI・IoT基礎講義、人文社会系講義など、学生の志向に応じる多彩な科目を各大学で用意しています。

修了生による国際社会のエネルギー新価値創造



●審査

【卓越選抜試験(SE)】

本プログラムへの進入選抜審査。専門基礎知識の習得を問います。連携13大学大学院に進学予定の学部生を対象に、当該年度の卒業見込みを受験資格とします。また、社会人にはTD3年からの進入枠を若干名用意しています。

【卓越認定審査(QE)】

TD3年への進級審査。所定科目の履修(30単位)と学術論文1報以上の投稿を受験資格とし、研究成果と理解度、TD3年以降の研究計画を問います。

【卓越修了審査(FE1)】

学位審査。マテリアルからシステムにわたる電力・エネルギー分野の高度な専門研究力を問います。

【卓越修了審査(FE2)】

所定科目の履修(45単位)と連携機関との国際会議等の共著論文1報以上の採択を受験資格とします。ルーブリック指標で自己評価とピア評価を行い、口頭試問でアウトカムとしての研究の事業性・社会的意義を審査します。合格者には連携13大学連名での修了証を授与します。

教員紹介

国内・海外の一流研究陣による
教育研究指導

■ プログラムコーディネーター



林 泰弘

Yasuhiro HAYASHI

早稲田大学
大学院先進理工学研究科
電気・情報生命専攻/
先進理工学専攻・教授

[専門]電力システム工学

■ 副プログラムコーディネーター



本間 敬之

Takayuki HOMMA

早稲田大学教務部長
大学院先進理工学研究科
応用化学専攻・教授

[専門]機能表面化学

■ 外部連携推進統括



石井 英雄

Hideo ISHII

早稲田大学
スマート社会技術融合
研究機構・研究院教授

[専門]分散型エネルギー資源の統合

■ プログラム担当者



朝日 透

Toru ASAHI

早稲田大学
大学院先進理工学研究科
生命科学専攻/
先進理工学専攻・教授

[専門]生物物性科学、キラル科学

■ プログラム担当者



天野 嘉春

Yoshiharu AMANO

早稲田大学
大学院基幹理工学研究科
機械科学専攻・教授

[専門]エネルギーシステム工学

■ プログラム担当者



有村 俊秀

Toshihide ARIMURA

早稲田大学
大学院経済学研究科・教授

[専門]環境経済学

■ プログラム担当者



野田 優

Suguru NODA

早稲田大学
大学院先進理工学研究科
応用化学専攻・教授

[専門]化学工学、材料プロセス

■ プログラム担当者



人見 剛

Takeshi HITOMI

早稲田大学
大学院法務研究科・教授

[専門]行政法、地方自治法

■ プログラム担当者



牧 兼充

Kanetaka MAKI

早稲田大学
大学院経営管理研究科・准教授[専門]テクノロジー・マネジメント、アントレプレナーシップ、
科学技術イノベーション政策

■ プログラム担当者



石山 敦士

Atsushi ISHIYAMA

早稲田大学
大学院先進理工学研究科
電気・情報生命専攻・教授

[専門]電気工学

■ プログラム担当者



入山 章栄

Aki IRIYAMA

早稲田大学
大学院経営管理研究科・教授

[専門]経営戦略、国際経営

■ プログラム担当者



小柳津 研一

Kenichi OYAZU

早稲田大学
大学院先進理工学研究科
応用化学専攻/
先進理工学専攻・教授

[専門]高分子化学

■ プログラム担当者

クリストフ・
ラーデマツハ

Christoph RADEMACHER

早稲田大学
大学院法学研究科・准教授

[専門]知的財産権法

■ プログラム担当者



若尾 真治

Shinji WAKAO

早稲田大学
大学院先進理工学研究科長
電気・情報生命専攻・教授

[専門]電磁エネルギーシステム工学

■ プログラム担当者



北 裕幸

Hiroyuki KITA

北海道大学
大学院情報科学研究科
システム情報科学部門・教授

[専門]電力システム工学

■ プログラム担当者



川上 智子

Tomoko KAWAKAMI

早稲田大学
大学院経営管理研究科・教授

[専門]マーケティングイノベーション

■ プログラム担当者



川原田 洋

Hiroshi KAWARADA

早稲田大学
大学院基幹理工学研究科
電子物理システム学専攻・教授

[専門]電気電子工学、電子デバイス

■ プログラム担当者



草鹿 仁

Jin KUSAKA

早稲田大学
大学院環境・エネルギー
研究科・教授

[専門]機械工学、自動車工学

■ プログラム担当者



原 亮一

Ryoichi HARA

北海道大学
大学院情報科学研究科
システム情報科学部門・
准教授

[専門]電力システム工学

■ プログラム担当者



斎藤 浩海

Hiroumi SAITOH

東北大学
大学院工学研究科
電気エネルギーシステム
専攻・教授

[専門]電力システム工学

■ プログラム担当者



津田 理

Makoto TSUDA

東北大学
大学院工学研究科
電気エネルギーシステム
専攻・教授

[専門]電気エネルギーシステム工学、超電導工学

■ プログラム担当者



黒川 哲志

Satoshi KUROKAWA

早稲田大学
大学院社会科学研究科・教授

[専門]環境法

■ プログラム担当者



庄子 習一

Shuichi SHOJI

早稲田大学
大学院先進理工学研究科
ナノ理工学専攻・教授

[専門]電子工学、計測工学

■ プログラム担当者



関根 泰

Yasushi SEKINE

早稲田大学
大学院先進理工学研究科
応用化学専攻/
先進理工学専攻・教授

[専門]触媒化学、資源化学

■ プログラム担当者



伊藤 雅一

Masakazu ITO

福井大学
学術研究院工学系部門
工学領域電気・電子工学講座・
准教授

[専門]太陽光発電システム、電力システム工学

■ プログラム担当者



入江 寛

Hiroshi IRIE

山梨大学
大学院総合研究部
工学域物質科学系
(クリーンエネルギー研究
センター)・教授

[専門]材料化学

■ プログラム担当者



宮武 健治

Kenji MIYATAKE

山梨大学
大学院総合研究部
工学域物質科学系
(クリーンエネルギー研究
センター)・教授

[専門]高分子科学

■ プログラム担当者



川上 浩良
Hiroyoshi KAWAKAMI

東京都立大学
大学院都市環境科学研究科
環境応用化学域・教授

[専門]高分子化学

■ プログラム担当者



高木 慎介
Shinsuke TAKAGI

東京都立大学
大学院都市環境科学研究科
環境応用化学域・教授

[専門]光化学

■ プログラム担当者



跡部 真人
Mahito ATOBE

横浜国立大学
大学院工学研究院/理工学部
化学・生命系
理工学専攻・教授

[専門]有機電気化学、電解合成、電解重合

■ プログラム担当者



ナエブーン・フーンチャレオン
Naebboon HOONCHAREON

チュロンコン大学・准教授

[専門]電力システム工学

■ プログラム担当者



ハンス-アルノ・ヤコブセン
Hans-Arno JACOBSEN

ミュンヘン工科大学・教授

[専門]電力システム工学

■ プログラム担当者



杉村 英市
Eiichi SUGIMURA

パワーアカデミー
事務局・部長

[専門]電力工学

■ プログラム担当者



辻 隆男
Takao TSUJI

横浜国立大学
大学院工学研究院/
理工学部数物・電子情報系
理工学専攻・准教授

[専門]電力システム工学、スマートグリッド、再生可能エネルギー

■ プログラム担当者



光島 重徳
Shigenori MITSUSHIMA

横浜国立大学
大学院工学研究院/理工学部
化学・生命系
理工学専攻・教授

[専門]応用電気化学、エネルギー化学

■ プログラム担当者



加藤 丈佳
Takeyoshi KATO

名古屋大学
未来材料・システム研究所・
教授

[専門]エネルギーシステム工学

■ プログラム担当者



井上 俊雄
Toshio INOUE

(一財)電力中央研究所
システム技術研究所・所長

[専門]電力システム工学

■ プログラム担当者



大谷 謙仁
Kenji OTANI

(国研)産業技術総合研究所
再生可能エネルギー
研究センター
エネルギーネットワークチーム・
研究チーム長

[専門]太陽光発電システムの高度制御技術

■ プログラム担当者



真崎 仁詩
Hitoshi MAZAKI

ENEOS(株)
中央技術研究所・フェロー

[専門]高分子材料

■ プログラム担当者



早川 直樹
Naoki HAYAKAWA

名古屋大学
大学院工学研究科
電気工学専攻・教授

[専門]電力工学

■ プログラム担当者



横水 康伸
Yasunobu YOKOMIZU

名古屋大学
大学院工学研究科
電気工学専攻・教授

[専門]エネルギー制御工学

■ プログラム担当者



吉田 隆
Yutaka YOSHIDA

名古屋大学
大学院工学研究科
電気工学専攻・教授

[専門]エネルギー材料工学

■ プログラム担当者



川口 忍
Shinobu KAWAGUCHI

東京ガス(株)
ソリューション技術部
ソリューション技術企画
グループ・副部長

[専門]エネルギー工学、材料強度学

■ プログラム担当者



舟木 剛
Tsuyoshi FUNAKI

大阪大学
大学院工学研究科
電気電子情報通信工学専攻・
教授

[専門]パワーエレクトロニクス

■ プログラム担当者



餘利野 直人
Naoto YORINO

広島大学
大学院先進理工系科学研究科
先進理工系科学専攻
電気システム制御プログラム・
教授

[専門]電力システム工学

■ プログラム担当者



北條 昌秀
Masahide HOJO

徳島大学
大学院先端技術科学教育部
システム創生工学専攻・教授

[専門]電力システムへのパワーエレクトロニクス応用

■ プログラム担当者



末廣 純也
Junya SUEHIRO

九州大学
大学院システム情報科学研究科
電気電子工学専攻・教授

[専門]静電気応用工学

■ プログラム担当者



千住 智信
Tomonobu SENJYU

琉球大学
工学部工学科
電気システム工学コース・教授

[専門]電力システム工学、パワーエレクトロニクス

■ プログラム担当者



ケヴィン・トムソヴィック
Kevin TOMSOVIC

テネシー大学
ノックスビル校・教授

[専門]電力システム工学

■ プログラム担当者



スチュアート・ロワン
Stuart ROWAN

シカゴ大学・教授

[専門]有機高分子化学

■ プログラム担当者



ダニエル・シュワルツ
Daniel SCHWARTZ

ワシントン大学・教授

[専門]電気化学工学

■ プログラム担当者



朱 桂萍
ZHU Guiping

清華大学・教授

[専門]エネルギー貯蔵

■ プログラム実施者

■ 氏名	■ 機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	■ 専門
ジョエル・タクラアス・バール Joel T.ASUBAR	福井大学学術研究院工学系部門工学領域電気・電子工学講座・准教授	電子デバイス
塩島 謙次 Kenji SHIOJIMA	福井大学学術研究院工学系部門工学領域電気・電子工学講座・教授	半導体表面界面評価
重信 颯人 Ryuto SHIGENOBU	福井大学学術研究院工学系部門工学領域電気・電子工学講座・助教	電力システム工学
橋本 明弘 Akihiro HASHIMOTO	福井大学学術研究院工学系部門工学領域電気・電子工学講座・教授	結晶工学
犬飼 潤治 Junji INUKAI	山梨大学大学院総合研究部工学域物質科学系(クリーンエネルギー研究センター)・教授	燃料電池
内田 誠 Makoto UCHIDA	山梨大学大学院総合研究部工学域物質科学系(燃料電池ナノ材料研究センター)・教授	電気化学
熊田 伸弘 Nobuhiro KUMADA	山梨大学大学院総合研究部工学域物質科学系(クリスタル科学研究センター)・教授	無機合成化学
近藤 英一 Eiichi KONDOH	山梨大学大学院総合研究部工学域物質科学系(先端材料理工学)・教授	マイクロ加工
田中 功 Isao TANAKA	山梨大学大学院総合研究部工学域物質科学系(クリスタル科学研究センター)・教授	結晶工学
和田 智志 Satoshi WADA	山梨大学大学院総合研究部工学域物質科学系(応用化学)・教授	固体化学
梶原 浩一 Koichi KAJIHARA	東京都立大学大学院都市環境科学研究科環境応用化学域・教授	無機材料化学
佐藤 潔 Kiyoshi SATO	東京都立大学大学院都市環境科学研究科環境応用化学域・准教授	構造有機化学
瀬高 渉 Wataru SETAKA	東京都立大学大学院都市環境科学研究科環境応用化学域・教授	物理有機化学、機能固体化学
柳下 崇 Takashi YANAGISHITA	東京都立大学大学院都市環境科学研究科環境応用化学域・准教授	材料化学
上野 和英 Kazuhide UENO	横浜国立大学大学院工学研究院/理工学部化学・生命系理工学専攻・准教授	電気化学、有機材料科学
黒田 義之 Yoshiyuki KURODA	横浜国立大学大学院工学研究院/理工学部化学・生命系理工学専攻・准教授	無機合成化学、エネルギー材料
渡邊 正義 Masayoshi WATANABE	横浜国立大学先端科学高等研究院・特任教授	有機材料化学、電気化学
佐々木 豊 Yutaka SASAKI	広島大学大学院先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻電気システム制御プログラム・助教	電力工学、電力変換、電気機器
造賀 芳文 Yoshifumi ZOKA	広島大学大学院先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻電気システム制御プログラム・准教授	電力工学、電力変換、電気機器
飯野 穂 Yutaka IINO	早稲田大学スマート社会技術融合研究機構・研究院准教授	制御工学
下嶋 敦 Atsushi SHIMOJIMA	早稲田大学大学院先進理工学研究院応用化学専攻・教授	無機合成化学
福永 明彦 Akihiko FUKUNAGA	早稲田大学大学院先進理工学研究院応用化学専攻・教授	機能材料デバイス



**POWER
ENERGY
PROFESSIONALS**

早稲田大学

**パワー・エネルギー・プロフェッショナル (PEP)
育成プログラム**

〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1
TEL : 03-5286-3238 FAX : 03-5286-2847
E-mail : pep-info@list.waseda.jp
URL : <https://www.waseda.jp/pep/>

2021.04発行

連携大学事務局一覧

北海道大学
大学院情報科学研究所事務課教務担当
011-706-6946、7596 kyomu-t@ist.hokudai.ac.jp

東北大学
工学研究科大学院教務係
022-795-7185 eng-in@grp.tohoku.ac.jp

福井大学
工学部PEP卓越大学院事務室
0776-27-8930 pep-office@ml.u-fukui.ac.jp

山梨大学
工学域支援課
055-220-8402 riezon@yamanashi.ac.jp

東京都立大学
都市環境学部教務係
042-677-1111 tmupep-all-ml@ml.tmu.ac.jp

横浜国立大学
理工学系教務課理工学府係
045-339-3817、3818 ses.daigakuin-eng@ynu.ac.jp

名古屋大学
大学院工学研究科教務課教務係
052-789-3325 kou-kyomu@adm.nagoya-u.ac.jp

大阪大学
大学院工学研究科電気電子情報通信工学専攻
システム・制御工学講座パワーシステム領域
06-6877-5111(代) pep@eei.eng.osaka-u.ac.jp

広島大学
工学研究科支援室(大学院課程担当)
082-424-7519 kou-gaku-daigakuin@office.hiroshima-u.ac.jp

徳島大学
理工学部事務課学務係
088-656-7317 st_gakmuk@tokushima-u.ac.jp

九州大学
工学部等事務部教務課
092-802-3892 kotkachohosa@jimu.kyushu-u.ac.jp

琉球大学
工学部学務係
098-895-8583 kggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp